



なでしこ

令和2年5月1日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
http://vada-e.saitama-city.ed.jp

【校訓】かしく なやく たくまく 【教育目標】進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かいっぱいやりぬく子 【在籍児童数】男子266人 女子232人 合計498人



「こどもの日」に寄せて ～子育て～



校長 井原政幸

“風薫る五月” 爽やかな青空と木々の緑、藤や菖蒲などの花が美しい季節になりました。5月5日は、「こどもの日」です。また、二十四節気の「立夏（りっか）」<蛙が鳴きはじめ、夏の気配が感じられるころ>にあたります。鯉のぼりが大空を舞い、生命が躍動する季節の到来です。児童の元気に活動する姿、嬉々とした笑顔、湧き上がる歓声、1日も早く学校本来の活気が戻ってくることを待ち望む毎日です。

雀らも 海かけて飛べ 吹流し 石田波郷

さて、臨時休校の期間中、校庭で楽しそうに遊ぶ親子の姿をよく見かけます。先日も、校内巡回の折、芝生の反対側の遊具で遊んでいる親子を見かけました。低学年の子が、遠くから、「おはようございます」と元気に挨拶し、その傍らで親御さんも丁寧な挨拶をしてくださいました。そして、親御さんがお子さんの頭を撫でながら笑顔で話し掛け、お子さんも笑顔で何か答えている様子でした。とても心和む光景でした。今、世界各地では、外出自粛や経済状態の悪化の中、家庭内におけるドメスティック・バイオレンス（DV）や虐待の増加・悪化が懸念されています。日本も、阪神・淡路大震災や東日本大震災の時に現実化したことを考えると、この度も例外とはいえません。健康や経済など様々な不安が募る毎日ですが、このような時こそ、子どもに「愛されている実感」と「守られている安心感」を与えることが大切であると思います。平成17年2月、天皇陛下が愛子様の養育方針に触れられた会見の中で、「子どもの成長過程でとても大切な要素を見事に表現している」と評された詩があります。アメリカの家庭教育学者ドロシー・ロー・ノルト氏の「子ども」という詩です※参照：宮内庁HP「皇太子殿下お誕生日に際し(平成17年)」>。また、同氏の「子は親の鏡」という詩も、子育てに関して、大切な示唆を与えてくれるものだと思います。以下、出版社の御厚意により、「子は親の鏡」という詩を掲載させていただきます。

「子は親の鏡」

※本文は、出版社の御厚意により、紙媒体で印刷した学校便りのみ掲載の御許可をいただいております。
つきましては、書籍及びインターネットで本文をご覧いただけるサイトを以下に紹介させていただきます。

書籍 「ドロシー・ロー・ノルト博士の『子どもが育つ魔法の言葉』シリーズ」シリーズ
著者 ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス (訳：石井千春)
出版社 PHP研究所

インターネットで本文を閲覧される場合の検索方法

- ① 「子は親の鏡」で検索し、「子は親の鏡！『子どもが育つ魔法の言葉』シリーズPHP研究所」を選択
- ② <URL> <https://www.php.co.jp/books/dr.php>

